



<50> 指揮者のために。フルートに合わせ
て。ダビデの賛歌。

- 50:1 神の神【主】は語り地を呼び集められ
る。日の昇るところから沈むところまで。
50:2 麗しさの極みシオンから神は光を放たれ
る。
50:3 私たちの神は来られる。黙ってはおられ
ない。御前には食い尽くす火がありその周り
には激しい嵐がある。
50:4 神は上なる天をまた地を呼び集められる。
ご自分の民をさばくために。
50:5 「わたしにある敬虔な者をわたしのとこ
ろに集めよ。いけにえによってわたしと契約
を結んだ者たちを。」
50:6 天は神の義を告げ知らせる。神こそが審
判者であると。セラ
50:7 「聞けわが民よ。わたしは語ろう。イ
スラエルよわたしはあなたを戒めよう。わた
しは神あなたの中の神である。
50:8 あなたはいけにえのことであなたを責め
るのではない。あなたの全焼のささげ物はい
つもわたしの前にある。
50:9 わたしはあなたの家から雄牛を困いから
雄やぎを取ろうとしているのではない。
50:10 森のすべての獣はわたしのもの。千の
丘の家畜らも。
50:11 わたしは山の鳥も残らず知っている。
野に群がるものたちもわたしのものにいる。
50:12 たとえ飢えてもわたしはあなたに言わ
ない。世界とそれに満ちるものはわたしのも
のだ。
50:13 わたしが雄牛の肉を食べ雄やぎの血を

飲むだろうか。

50:14 感謝のいけにえを神に献げよ。あなた
の誓いをいと高き神に果たせ。

50:15 苦難の日にわたしを呼び求めよ。わた
しはあなたを助け出しあなたはわたしをあ
がめる。」

「わたしにある敬虔な者をわたしのところに集
めよ。」とあります。礼拝は主のたいなる御心な
のです。礼拝をささげること、主の御心に従い
ましょう。

「感謝のいけにえを神に献げよ。あなたの誓い
をいと高き方に果たせ。」とあり心やさげること
です。感謝を表わしませぬ。大切なのは心やさげること
というように、真実をましましよ。また自分に
できる精一杯の礼拝となるかを考えよう。また自分に
ささげて主に喜んでいただくまじよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にご適用しますか？（あなたのど
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

